

あかつき 暁

あかるく かがやく つしまの きぼうのおか

津島市立暁中学校便り 5号

令和7年5月15日(木)

かげがえのない校歌

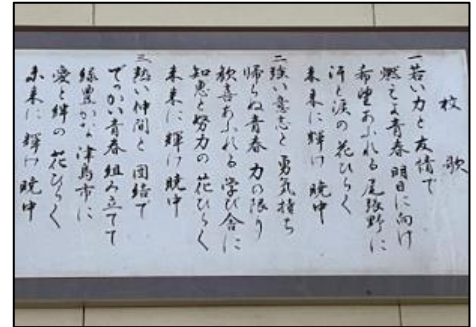
「♪ 若い力と ♪・・・」から始まる暁中の校歌。今回は、校歌の歴史を改めて振り返ります。なぜ?と思われるかもしれませんが、校歌をはじめて目にした際に「作詞：校歌制定委員会」という文字が気になったからです。

暁中学校は、昭和62年に開校しましたが、校歌ができたのは、約3年後の平成2年です。そして、平成2年2月15日に校歌発表会を開催しています。その資料を一部抜粋して紹介します。

○「『こんな中学校であってほしい』『こんな中学校生活を送りたい』という日頃の気持ちや、願いをこめて詞をつくりました。この詞にあるように、みんなで力を合わせ知恵と勇気を出し合って、誇りのもてるすばらしい中学校生活を送りたい。この校歌を私の心の支えとして・・・」

(歌詞入選者4人のうちの1人でグランプリを受賞した生徒)

歌詞を募集し、校歌歌詞検討委員会の第3次審査で4点にしぼり、最終的に校歌制定委員会で曲を決め完成させたそうです。先輩方の思いを受け継いでください。



5月18日(日)は家庭防災の日です。

5月は、「いざという時のために、家族で集合場所や連絡方法を決めましょう」となっています。自分が住んでいる地域における災害の危険性を確認し、家庭内におけるルールを考えるきっかけにしてください。津島市のHPにある防災ハザードマップも参考にどうぞ。



【紹介したい言葉】(校歌つながりで)

ミュージシャン 財津和夫さんの言葉より一部抜粋

「校歌が体の一部のような存在だと考えています。大げさかもしれませんが、宝物のように大切にしたいと常々思っています」

※ 歌にはいろいろありますが、校歌は「同じ学校に通った(通っている)」という理由で歌い、同じ場所で同じ生活を送った証拠にもなります。財津さんも書いていますが、最近統廃合で学校と共に校歌が失われていきます。校長先生も卒業した中学校、高校が統廃合でなくなり、小学校も間もなく統廃合されるため財津さんに共感できます。